



れんけいと支援

地域の医療・保健・介護・福祉の方とともに、皆様の健康をお守りします

Face to Face,

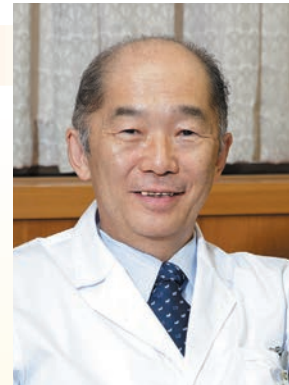
Heart to Heart

富山市今泉北部町2-1 / Tel: 076 (422) 1112(代) <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> / 発行日 2022年4月

病院長挨拶

コロナ禍から復活して、 地域医療に邁進する

富山市民病院 院長 藤村 隆



北京オリンピック・パラリンピックで幕開けした2022年、日本人選手の活躍を楽しんでいた最中、ロシアによるウクライナ侵攻が勃発して晴れやかな気分を完全に打ち消してしまいました。我々はこの2年間新型コロナウイルス感染症（COVID-19）との戦いに明け暮れてきましたが、その残忍性、激甚性において比較できるものではありません。やり場のない憤怒を感じるとともにできるだけ早期の休戦とウクライナの平和の復興を祈らざるをえません。

さて富山県や厚生センター、富山市民保健所、県市医師会さらには富山大学等の協働により、感染症指定医療機関に加えて県内の多くの病院が参加してCOVID-19の病床の系統的な管理が行われるようになったことに加え、療養用宿泊施設の確保、PCR検査体制の拡充、ワクチン接種の促進などのおかげで、COVID-19の診療は概ね管理できるようになりました。現在当院は、COVID-19の診療を行いながら、一般急性期医療、救急医療も以前の体制を復活しており

ます。どうか安心してご紹介いただければと思います。今後も日頃から応援いただいている先生方と紹介・逆紹介を通して、地域医療の発展に邁進したいと思います。

コロナ禍の中で変化したことがあります。これまで対面のみで行っていた地域連携症例検討会が対面とリモートのハイブリッド形式となりました。紹介患者さんの中から選択した興味深い症例の提示と当院が得意とする疾患の担当医によるミニレクチャーから構成されています。当院と距離のある診療所の先生、診療の影響で時間的に現地参加が困難な先生、また悪天候の時などではリモートでの参加が有用と考えております。まだご存知、ご参加いただいていない先生方には、是非一度覗いていただければ幸甚と存じあげます。

本年も、ご支援のほどを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

ふれあい地域医療センター 新任スタッフの紹介



看護師長 関堂 好子 (せきどう よしこ)

4月1日より、富山まちなか病院地域医療連携室から異動となりました関堂です。

地域医療の貢献のため、1日も早く病院に慣れ、富山まちなか病院での経験が活かせるよう一生懸命取り組む所存です。

至らない点が多々あると思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



社会福祉士 酒井 寿樹 (さかい かずき)

令和4年4月1日に福祉保健部障害福祉課から異動してきました酒井です。当院では医療相談室の医療ソーシャルワーカー（相談員）として配属されました。患者さん・家族、病院、地域等をつなぐ役割を担う職種であると思いますので、皆様にご協力いただきながら、職務にまい進してまいります。よろしくお願いいたします。



地域連携症例検討会（ハイブリッド開催） ※会場またはWEBでの参加が可能です。

※令和4年4月の開催から、症例検討1例30分、ミニレクチャー1題30分の予定で開催いたします。
ご参加のほどよろしくお願いいたします。（日本医師会生涯教育制度のカリキュラムコードの付与は、
今までと同じ2つとなります。）

日時：5月10日（火） 19：00～20：00 場所：当院3階 講堂

1) 症例検討

「新型コロナウイルス感染症 第6波：小児例に関して」

小児科 和田 優子

2) ミニレクチャー

「当院における硬膜外麻酔を用いた無痛分娩の現状と評価」

麻酔科 篠田 正浩

当院における無痛分娩の件数は年々増加しており、今や当院で出産する妊婦さんの半数以上が無痛分娩で出産しております。妊婦さんに安全な無痛分娩を提供するためには、お産に関わるスタッフに硬膜外麻酔の専門的な知識を必要としますが、妊婦さんの出産時、出産後のQOL改善に大きく貢献しております。なぜなら、無痛分娩によって出産時の疼痛緩和をはじめ、それに伴う疲労の軽減、産後の活動性の低下を予防し、早期離床、早期退院

を促すことが出来ると考えられているからです。日本では、お産全体に占める無痛分娩の割合は5%前後で、欧米諸国に比較するとまだまだ普及率は高くありません。そこで、今回無痛分娩について知っていただく機会となればと思い、一般的な無痛分娩の方法と当院の無痛分娩の方法、流れなどを説明した上で、実際に経験された妊婦さんを対象に集計した疼痛緩和レベルや満足度のアンケート結果も併せてご紹介させていただきます。

予告

※例年6月に開催しております地域連携の会は、今年度も行いません。当院での通常の開催となります。

日時：6月14日（火） 19：00～20：00（ハイブリッド開催）

場所：当院3階 講堂

内容：①症例検討 1例（未定）

②ミニレクチャー 1例（未定）

地域連携症例検討会に関しては、今後もWEBを利用したハイブリッド方式で開催していくことを計画しています。つきましては、ZOOM会議のご案内に関して参加される先生方の利便性に鑑みURLならびにQRコード等をお送りするため、下記のメールアドレスへ①貴施設名 ②氏名を明記の上、メール送信いただきますよう、よろしくお願いいたします。一度登録していただければ今後継続してご案内をメールでお送りいたします。

ttm2168@tch.toyama.toyama.jp（ふれあい地域医療センター 地域医療連携室）

※定例の研修会、看護研修

当面の間、開催を見合わせております。

看護師 米山 実香（よねやま みか）

4月1日よりふれあい地域医療センターに異動になりました米山実香です。

今までの業務と違い地域の病院の先生方との電話対応に戸惑っています。

早く業務を覚え、地域と患者さんをつなぐ役割を担えるように努力していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

開放型医師室事務 齊藤 千智（さいとう ちさと）

3月から地域医療連携室・開放型医師室の事務の新規採用になりました齊藤千智です。

まだまだ不慣れですが、頼もしい先輩方からたくさんのお話を学びたいと思っております。

よろしくお願いいたします。



研修医のひとりごと

臨床研修医 若山 卓史

こんにちは、初期臨床研修医2年目の若山です。

研修医のひとりごととしては最後になります。コロナ禍に始まりコロナ禍で終わる研修医生活でしたが、その中でも様々な経験をさせていただきました。はじめは右も左もわからず、患者さんを目の前にしてあたふたすることもありましたが、最近では病棟だけでなく救急外来でも少し自信をもって対応できるようになりました。また、上級医の先生にも恵まれ、丁寧なご指導の下で学会発表なども経験させていただきました、今後の医者人生に大きく影響を与えていただ

いたように思います。当院ではたすき掛け制度をもって、他院に研修を希望することもでき、私は救急科、循環器内科、ICUで研修させていただきました。当院で学んだことにさらに肉付けをすることができ、非常に良い経験ができたと思います。

2年間はあっという間でしたが、振り返ってみて本当にこの病院を研修先に選んでよかったと感謝しています。来年からも北陸で働くことになったので、また会う機会があればより成長した姿をお見せできるように精進します。ありがとうございました。

救急エキスパートナースの活動

救急看護エキスパートナース 後田 幸子

救急看護の対象は、突然の疾病・外傷・心肺停止などの状態変化を有するあらゆるライフステージの患者さんやご家族です。救急看護の範囲は、救急初療・ICUをはじめ院内全体、さらに在宅にまで広がり、色々な疾病・年齢・場所を問わず関わることが特徴です。私たち救急看護エキスパートナースは、救急現場はもちろん、多様なニーズに対応すべく、専門的知識と技術を習得・実施し、救急看護の啓発・指導とコンサルテーションを行っています。

主な活動としては、新人看護師への救急蘇生研修、全職員を対象としたAED（自動体外式除細動器）を用いたBLS講習、院内救急コール訓練、ICLS・JPTEC・JNTECなどのプロバイダーコース受講前指導、学校や一般市民への出前講座（ふれあい健康講座）など院内外の研修の充実を図り、教育・指導に携わっています。また、コロナ禍での急変時対応についても院内での啓発活動を行っています。突然倒れ意識

のない人を発見した時、バイスタンダー（心肺停止の際、その場に居合わせた人）による心肺蘇生法が施されることはとても重要です。スムーズな救命の連鎖（迅速な通報・迅速な心肺蘇生・迅速な除細動・二次救命処置）は救命率を上昇させ、後遺症を減少させることができるためエキスパートナースとしてこれらの活動は大変重要であると思っています。

院内全職員がそれぞれの立場で急変時の対応ができるように、また、コロナ禍でも迅速な対応ができるように地域支援病院として今後もエキスパートの活動に力を入れていきたいと思っています。



(院内研修の様子)

医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

5月

科名	医師名	不在日
内科	水野	13日
整形外科・関節再建外科	重本	20日
形成外科	林	16日

※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。TEL 076-422-1112 (代) 内線2168

科名	医師名	不在日
脳神経外科	中尾	31日
眼科	高松	2日
歯科口腔外科	寺島	2日
	朽名	6日、13日

編集後記

今年は、桜の開花から晴天が続き、例年に比べ長い間花を楽しむことができたのではないのでしょうか。私は、毎年変わらずに咲いてくれる病院の庭に咲く桜に心癒されほっとしていました。「何千年も前の人が見ていた美しい夕日はずっと変わらずあり、その景色は今を生きる私たちも同じように見ることができる」と誰かが言っていました。考えてみるとなんだかすごいことですね。感慨深いです。

今年度、ふれあい地域医療センターに新たにスタッフが異動し、新しい出会いがありました。新しい出会いのご縁に感謝し、今後もふれあい地域医療センタースタッフ一丸となり安全に、また安心して多くの方にご利用いただけるよう努めて参ります。

ふれあい地域医療センター 石崎 華代



「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 / FAX 076 (422) 1154
メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp



ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp